

北中学校 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育

本校は、創立40周年の節目の年であった令和2年度よりコミュニティ・スクール、小中一貫教育を本格実施し、また市内校区再編にともない、北中学校区は以前の5小学校・1中学校から3小学校1中学校に変更されることを受け、この機会を1つのチャンスと捉え、未来を担う子どもたちの豊かな学び・成長のために、学校・地域・保護者が連携、協働、絆を深め、地域とともにある学校づくりを推進していきたいと考え取組を進めている。

今後も9年間を通した子どもの学びや育ちを意識しながら、それぞれが魅力ある学校となるよう取組を進めていきたい。



(1) コミュニティ・スクールの推進

名張版コミュニティ・スクールの3つの柱に沿って計画を進めている。

① 学校運営への参画

以前より本校では、学校評議員の方々に評価や助言をいただきながら学校運営を進めてきたが、令和2年度2学期より、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールがスタートした。その年には、創立40周年に関わってのイベントや行事が計画されており、その中心となって進めていただく地域の方にも学校運営協議会のメンバーに加わっていただき、ともに知恵を出し合いながら進めていく。今後も学校運営協議会では、北中学校が育てたい「めざす子どもの姿」を共有しながら、それぞれが当事者意識をもって熟議を重ね、子どもたちのためにできることを模索していきたい。



学校運営協議会

② 学校支援の充実

北中学校は、PTAや北斗会（PTA OB・OG会）を中心に、地域の応援団がたくさんいる。創立40周年を機に、これら地域の方々を巻き込み、子ども姿を見ていただき、めざす子ども像の実現のために支援をいただけるよう働きかけた。また、学



『北斗会』からの支援

校生活支援ボランティアの登録者数がまだまだ少ないことから、地域の市民センター等に働きかけ、人材発掘を進めていきたい。

③ 地域貢献の場づくり

本校では、以前から子どもが地域のイベント等に参加する取組を行っている。美旗地区の古墳祭り、薦原地区の「こもこも祭り」、桔梗が丘地区の「心の思い発表会」、吹奏楽部演奏など、今後も取組を継続・発展させ、地域の方に中学生の姿を見ていただき、喜んでいただけるよう取組を進めていきたい。

また、市の防災訓練の折には中学生が地域の力となれるよう、活動を実施している。



地域防災への参加

(2) 小中一貫教育の推進

① 北中学校区校長会

美旗小学校、すずらん台小学校、薦原小学校、北中学校の4校の校長が、月1回集まり、互いの学校の取組や課題について情報共有するとともに、小中一貫教育の推進に向けた取組の母体となっている。



各校の学校長からなる運営委員会

② 北中学校区小中一貫教育グランドデザイン

グランドデザインでは、北中校区の教育目標を「夢をもち 心豊かに輝く 北斗の若星」、目指す児童生徒像を「互いに認め合う仲間と共に行動し、学ぶ喜びや自己有用感をもつことができる児童生徒」と設定している。年間を通して定期的に小中一貫教育合同研修会をもち、研究を進めるとともに取組を共有化し、学力向上部会や生徒指導部会など8つの部会をつくり、北中校区のすべての小中学校の教職員が所属し、その年度ごとの取組目標を設定し、評価を繰り返しながら取組が具体的な動きとなるよう進めている。教職員をはじめとする多様な主体が、中学校の卒業時の姿（ゴール）を共有し、明確な目標に向けてベクトルを合わせて取組を進めることにより、児童生徒の成長を促していきたいと考えている。



小中合同研修会（部会別研修）